

高校期再発後に顔腕足症状を経験した成人アトピーの経過 (20 代女性)

症例 ID：001-20-HH2 | 記録日：2017 年 1 月 22 日

1. 診断・治療前経過

幼少期にアトピー症状があったとされますが、すぐに消えました。高校 1 年生の冬、乾燥から腕の関節にかゆみが出て掻きむしり、跡がケロイド状になり始めました。

皮膚科でステロイド系外用薬を処方され、症状が出るたびに外用薬を使用することを繰り返していました。大学 4 年生の就職活動期にはストレスで顔、腕、足の関節などを掻きむしり、眉毛が薄くなるほど顔が荒れ、外出も嫌になる状態でした。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	高校生の頃から、腕の関節などの症状に対してステロイド系外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	高校生頃から松本医院受診前まで、症状が出るたびに使用していました。
中止時期	松本医院受診後はステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
高校 1 年冬	来院前	腕の関節がかゆくなり、掻破痕がケロイド状になり始めました。
高校～大学	来院前	症状が出るたびに皮膚科で外用薬をもらい、使用を繰り返しました。
大学 4 年	悪化時	就職活動のストレスで顔、腕、足の関節を掻きむしり、顔が大きく荒れました。
松本医院受診後	治療開始	消毒薬、黄色と赤色の外用薬、漢方茶を用いる生活を始めました。
治療経過中	経過中	なかなか変化が出ず、何度もあきらめそうになりましたが継続しました。症状が和らぎ始めた後も何度かぶり返しました。
その後	経過後	いつの間にか症状が現れなくなり、6 年間アトピー症状が出ていない状態になりました。

4. ピーク時期

ピークは、大学 4 年生の就職活動期に顔、腕、足の関節を掻きむしり、顔が荒れて外出も嫌になるほどだった時期です。

5. 困りごと

- ・顔の症状が強く、人相が変わりそうだと感じるほど心理的負担がありました。
- ・外出を避けたい時期がありました。
- ・治療開始後、なかなか変化が出ず、継続への不安がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は、消毒薬、外用薬、漢方茶を続けました。すぐには変化が出ず、症状がぶり返す時期もありましたが、徐々に症状は和らぎました。

その後はアトピー症状が現れなくなり、6年間症状が出ていない状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。